



尾久八幡

令和6年度12月号
令和6年12月 2日発行
荒川区立尾久八幡中学校
校長 稲葉 裕之

“笑い”をテーマに、人との関わりを考えるきっかけになりました。

道徳授業地区公開講座 11月6日(水)

お笑いコンビ「オシエルズ」講演会

本校では、外部人材の活用を積極的に行うことで、学習活動の充実を図っています。今年の「道徳授業地区公開講座」では、お笑いコンビ「オシエルズ」さんをお招きして、“人を傷つける笑い・傷つけない笑い”をテーマに、講演&お笑いライブを開催しました。



軽妙なトークから始まり、「“笑い”は人のためにするもの、自分のためにするものは“ふざけ”である」ということを中心に、自身の少年時代の体験談やお笑いライブなど、様々な話題を挙げながら、相手のことを考えた“笑い”について、とてもわかりやすくお話いただきました。その後、「“楽しい笑い”は、『相手とつながる』こと『相手をうけいれる』こと」ということを中心に、2～3人一組のゲームエクササイズを行い、交流することでの“笑い”の大切さを体験的に感じることができました。

今回のテーマはちょっと重い内容になるかと思われましたが、オシエルズのお二人は大学での講義を持っておられる“笑い”の専門家、さらに教員免許もお持ちとのことで、楽しくわかりやすく、それでいて中学生にも実感をもってその意味を理解できたように思いました。このたびはご講演いただき、ありがとうございました。

図書委員が中心となり、文化的な楽しみが味わえる図書行事となりました。

校内ビブリオバトル 開催 11月18日(月)

本校では、『授業活用や読書啓発活動により、学校図書館活用を推進することで、学習意欲の向上を図る』を、学校経営方針の5つの柱の一つに掲げ、本に触れる機会の充実を図っています。このたびは、図書委員が運営の中心となって、「校内ビブリオバトル」を開催しました。



11月18日(月)の放課後、図書委員が運営とオーディエンスとなり、1年生は各学級の代表者、2・3年生は選抜された生徒、総勢9名のバトラーによる熱い戦いが繰り広げられました。バトラーはそれぞれ自分のお気に入りの本について、その魅力が伝わるように工夫しながら語ってくれ、どの本にも興味が湧きました。A B 2つのグループに分かれ予選を行い、それぞれのグループで勝ち残った2名による決勝を行いました。



その結果、渡辺日奈さんが紹介した「ショットガン・ナウル」が見事、チャンプ本に選ばれました。おめでとうございます。渡辺さんは、12月1日(日)に行われる「全国中学ビブリオバトル東京大会」に学校代表として参加する予定です。こうした機会を通して、読書や発表活動に興味や関心をもつきっかけになってくれるといいなと思います。八幡中の文化的な楽しみを味わえる図書行事となりました。

予選Aグループ

発表順	発表者	著書名	著者	出版社
1	渡辺 日奈(3-1)	ショットガン・ナウル	三月みどり	KADOKAWA
2	上野 瑞希(2-3)	裁判官の爆笑お言葉集	長嶺 超輝	幻冬舎新書
3	大井 夢愛(1-5)	赤ずきん、旅の途中で死体と出会う。	青柳 碧人	双葉文庫
4	渡邊 夕鶴(1-1)	ヴァイオレット・エヴァーガーデン	暁 佳奈	KA エスマ文庫
5	工藤 琥士郎(1-3)	ひとりぼっちの教室	戸森 しるこ	講談社

予選Bグループ

発表順	発表者	著書名	著者	出版社
1	渡邊 雛子(3-3)	ヴァイオレット・エヴァーガーデン	暁 佳奈	KA エスマ文庫
2	村上 杏佳(1-2)	コンビニ人間	村田 紗耶香	文春文庫
3	長谷川 心結(1-4)	アルジャーノンに花束を	ダニエル・キイス	ハヤカワ文庫
4	大野 晴菜(2-2)	じょうぶな頭とかしこい体になるために	五味 太郎	ブロンズ新社

第一線で働く方々から直接話を聞く、貴重な機会となりました。

2年 職業講話 “校内ハローワーク” 11月11日(月)

本校では、キャリア教育の柱のひとつとして「校内ハローワーク」を実施しています。これは、様々な職業でその第一線で活躍されている方を講師に招聘して行う職業講話で、実際に働いている人から直接話を伺うことで、その職業の内容を理解するだけでなく、働く意義ややりがいについて知り、生徒が自身の進路について考える機会とすることを目的としています。今年は、11月11日(月)5・6校時を使って実施しました。今回は、「認定特定非営利活動法人 おやじ日本」にご依頼し、下表の4つの事業所から講師をお招きしました。

業種	企業・講師	
公認会計士	江黒公認会計士事務所 代表	江黒 崇史 様
通信販売（ネット販売）	アマゾンウェブサービスジャパン合同会社 事業開発本部	東 賢一朗 様
	アマゾン ジャパン合同会社 Audible 事業部	上田 綾乃 様
金融	(株)三井住友銀行 社会的価値創造推進部	亀川 紗也加 様
メディア	読売新聞東京本社 教育ネットワーク事務局	石橋 大祐 様

生徒は、受講する事業所・業種について事前に調べ学習をしてから臨んだこともあり、当日はメモを取りながら講話を真剣に聞く様子が見られ、その職業についての理解を深めることができました。そしてなにより、「働くことの意義」「仕事のやりがい」などについて直接話を聞くことができ、生徒たちにとって貴重な体験となりました。



この取り組みを通して、生徒が自分の進路に夢や希望をもち、その実現に向けて、日々の学習に力を入れたり、進路について考えたりしてくれることを期待しています。ご協力いただきました講師の皆様、本当にありがとうございました。

地域行事で八幡中生が活躍してくれました。

尾久っ子ワクワクまつり ボランティア 参加 11月 3日(日)



本校では、「奉仕の精神の醸成：地域貢献活動に取り組むことで、社会貢献意識や奉仕の精神の育成を図る。」ことを学校経営方針に掲げています。今回は、11月3日(日)に開催された「尾久っ子ワクワクまつり」に、7名の生徒が「中学生ボランティア」として参加してきました。今年は、例年の会場である「あらかわ遊園運動場」は使用できないため、本校のとなり「宮前パーク」で行われました。

このイベントは、尾久地区の町会や青少年育成地区委員会等が協力して開催、金管バンド演奏、ダンス発表、ゲーム・創作コーナー、模擬店などの様々なブースがあり、地域のこどもたちが楽しめるものです。そのうち、中学生ボランティアは、各ブースの運営や環境整備、「あら坊」の着ぐるみなどを担当します。当日は、地域の方々に教えていただきながらお手伝いをさせていただきました。子どもたちを笑顔にする楽しさ、地域の役に立つこと喜びなど、充実感を味わえた一日となりました。

この催しは、八幡中生にとっては、自分たちがかつて楽しんだこのイベントで、中学生となってから今度は運営側として関わることになるもので、その姿はまさにこの催しの主旨につながるものだと感じました。参加してくれた生徒のみなさん、ご苦労様でした。

楽しみながら、科学を学ぶことへの興味・関心につながる講演でした。

“エンタメ型”科学教室 11月20日(水)

本校では本年度、学校経営方針のひとつとして、「理科教育の充実」を掲げています。具体的には、学校パワーアップ事業を活用、実験・観察活動の充実、ICT機器の活用、「サイエンス講座」等外部講師の導入等に取り組むことにより、生徒の興味・関心を高めながら、実体験を通して理解を深める学習活動を目指しています。



そうしたなか、「科学の未来のために好奇心のタネをまく」をテーマにして、これまでに以下のような特別授業を行いました。

5/16 「電子顕微鏡から広がる世界」

ヨーグルトのフタがくっつかない理由を予想、素材表面を電子顕微鏡のリモート操作で実際に観察し、それをもとに考察する、探究プロセス体験授業 協力：(株)日立ハイテク

7/5 「生命の誕生」

ウニの卵を実際に受精させ、その成長・細胞分裂の様子を顕微鏡で観察する実習授業 協力：お茶の水女子大学 湾岸生物教育研究所、日本財団「海と日本 PROJECT」



そして今回は、科学館や教育機関でのイベント提供をしている会社「ActBoon(アクトブーン)」にご協力いただき、「“エンタメ型”科学教室 ～ 楽しみながら、科学の歴史・知識が身に付く一石二鳥の新感覚ショー ～」を実施しました。11月20日(水)、3・4校時を使い、2学年対象に実施しました。講師は、ActBoon代表であり、トヨタ自動車株式会社でAIリサーチの肩書きをもつマジシャン、シンディー氏です。学習テーマはこれから学習する予定の「電気」の分野でお願いをしました。

「電気」の授業では、電流・電圧・電力、静電気、電磁誘導等、多くのことを学ぶことになるのですが、講演では、電気にまつわるマジックやタブレットPCを使って電力の学習につながるWebゲームなどを織り交ぜながらの観客参加型なので、これらの学習内容についてのイメージをつかむのに大変有効なものでした。講演の最後には、静電気のしくみを使った秘伝のマジックを伝授いただきました。これらにより、理数系は苦手・難しいという意識が軽減され、科学を学ぶことへの興味・関心につながってくればと思います。

